



発行 こだわり滋賀ネットワーク
令和3年3月発行

〒520-8577
大津市京町 4-1-1
滋賀県庁 食のブランド推進課内

〒520-0044
大津市京町 4-3-38
JA 滋賀中央会 農業地域対策部

【特集】

滋賀県立湖南農業高等学校 県内農業高校初!GAP認証取得



こだわり。

2021
vol.57

農と食を考える こだわり滋賀ネットワーク通信



GAP(良い農業のやり方)

執筆者 滋賀県立湖南農業高等学校 作物担当実習教諭



■滋賀県立湖南農業高等学校について

滋賀県立湖南農業高等学校は、農業科、食品科、花緑科を有する農業高校です。教育目標を「心身ともに健康で、勤勉と責任を重んじ、自主・自律・協調の精神に富み、明るく健全な社会の進展に貢献できる人材の育成に努める。」と定めており、卒業後は滋賀県農業の発展に貢献する学生も数多くいます。

今年度は新たな取組としてGAPの認証取得を目指し、生徒自身が奮闘しましたので、その取組をご紹介します。

■県内農業高校で初めての

GAP認証取得

当校は、農作物生産における安全性や品質、適切な生産現場管理などを保証する「GAP」の認証を県内の農業高校で初めて取得しました。

対象作物は水稲で、籾・玄米の工程をAS-IAGAP、精米工程をJGAPで認証取得しました。

当校では、農業科作物班3年の生徒15名が、これからの農業経営者に必要な知識を学ぶために、2年生の終わり頃から認証取得を目指し勉強を始め、令和2年9月中旬に認証を取得することができました。

GAP認証は、東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準となっており、世界に共通した、安全で品質の良い農産物の証でもあります。

■知事表敬訪問

令和2年10月中旬、県庁に三日月知事を訪ね、認証取得の報告をしました。

三日月知事は「農業高校でのGAP認証取得は素晴らしいこと。生徒の皆さんは非常に自信に満ちた表情をされている。コロナ禍で、命を守る農作物を自分で作ることにはかけがえのない力だと改めて認識した。」とお話いただきました。

認証取得までの経緯

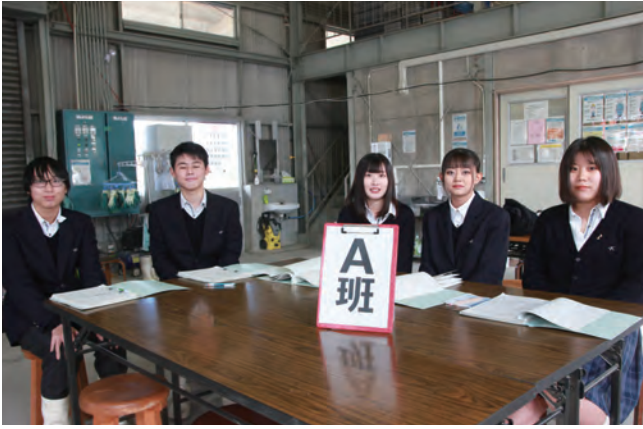
■コンサルタントの指導

GAP 認証取得のために計5回のコンサルタントを依頼し、認証取得に向けて準備を進めました。

コンサルでは、審査項目に対応した帳票のほかに、ほ場の整理整頓や、機材を扱う際のルール等160以上の項目をチェックしました。

また、できるだけ生徒が主体的に取り組み、考えられるように、左記のとおりチーム分けをし、審査員への質問にも生徒自身がこたえられるようにしました。

A班：経営の基本、B班：経営資源の管理、C班：栽培工程、精米専用項目



A班：経営の基本



B班：経営資源の管理



C班：栽培工程・精米専用項目

■公開審査の受審

令和2年8月25日、県内の農業者や教育機関、県職員が見学する中、審査を受審しました。審査員の講評では「各生徒が質問の意図をしっかりと把握して受け答えをしていて感心した。農業教育機関の審査は数多く行ってきたが、生徒の人数が限定されていたり、教員だけで受審されるところが多かった。作物班の生徒全員で受審され、全員が主体的に受け答えされているのは初めての経験。教育の面でのGAPの役割をしっかりと果たしていると思う。」と評価いただきました。

■生徒の皆さんの声

「一生懸命取り組み、みんなに支えてもらってできたこと。今後の取組も後輩たちに引き継いでいきたい。」

「GAPの点検項目を取り入れることで農作業をスムーズに行えるようになり、事故が起きにくい環境を作ることができた。」

「手探りの状態から始めて、夏休み返上でみんなと一生懸命頑張った。かがえのない経験になった。」

■作物担当実習教諭の振り返り

「先生！ここGAPの項目に違反してるで！」と農場で生徒から言われるようになりました。

私が1番嬉しかったことが、GAP認証取得に向けた取組の中で生徒が大きく成長したことを実感できたことです。

本審査でも生徒が主体となって審査員の質問に答え、自分で考えて答えを見つけていく様子には感銘を受けました。

生徒の長い人生の中で、農業の基本であるGAPに触れる機会は、今後ますます増えてくると思います。

そんな時に、当校で学んだGAPの取組について思い出して、自身の成功体験として活かしてもらえればと思います。



審査の様子



いま、環境こだわり

農業に取り組む

これからの農業に求められるもの

私のこだわり農業

私が環境こだわり米の認証を受け始めたきっかけは十五年前前に農協の営農指導員から、この様な制度があるがやらへんかと声をかけてもらったのがきっかけで、以前からずんぐり苗に育苗し、疎植の環境下で農薬の使用は最小限(何度が雑草、病害虫に泣かされましたが)、和牛の肥育もしており牛糞を投入しての栽培をしていたので、僅かな面積からでしたが取り組むことができました。ただ当時は、温湯消毒もお風呂で、また被覆肥料がなく穂肥もオール有機で施用量も多く暑い中散布していたのを懐かしく思い出します。



ほ場とこだわり看板



あぜ塗りの様子



共同利用の農機



坂田農産 坂田 東作さん

私のこだわり農業の今

温湯消毒機、乾田でも隅まで堅固に塗れる畦塗機への更新、品種ごとに適期防除が出来る兼用管理機を集落で順次導入して、環境こだわり農業を集落で取り組んでいます。我が家では今年、生産調整用米(一括管理)も含め水稻作付の七割強の主食用米全筆に当たる十二ヘクタール余りで、環境こだわり農産物の認証を受ける計画で進んでいます。

私のこだわり農業のこれから

長男が、サブソイラー・プラウ・レーザーレベラによる圃場均平化の機械体系を構築し、ドローンの資格も取り農薬の効果が安全でより一層期待できるように成った中、何と言っても長男の娘がごはん大好き、笑顔で美味しそうにたくさん食べるのを見て、またコロナ禍でこの子たちの代にまで計り知れぬ負担を残すかもしれないこれから、食の生産に携わるものとして出来ることは環境を守り残し、安心して安全で美味しいお米を食べ続けられる様に、環境こだわり農業に取り組んでいかなければならないと、孫の笑顔を見ながら思うところです。



お孫さんと農園



「食べることで、びわ湖を守る。」「環境こだわり農産物」の認証マークです。



滋賀県内各地域の取り組み紹介



特選 近江八幡市立武佐小学校1年 大林真結



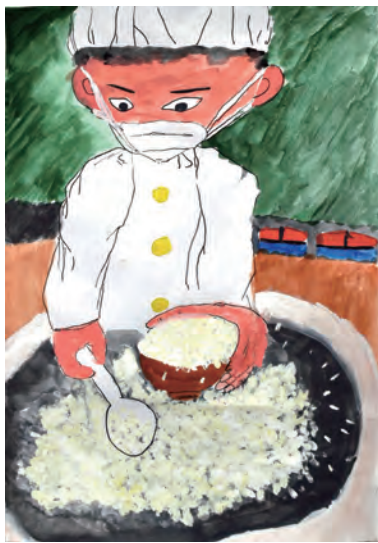
特選 滋賀大学教育学部附属小学校2年 小椋こころ



特選 近江八幡市立八幡小学校3年 川上雅姫



特選 長浜市立速水小学校4年 柏本真佑



特選 近江八幡市立金田小学校5年 岩谷大翔

令和2年度「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール お米&人との繋がりの大切さを再認識

J A 滋賀中央会では本年度、県内の小中学生を対象に「令和2年度『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」を開催しました。

同コンクールは日本の主食である「お米」への理解を深め、田んぼの役割や農家の気持ち、ごはん食の大切さを周知するためのもので毎年J A 全中の主催で行ってまいりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりJ A 全中の主催では中止となり、県中央会独自で開催することとなりました。

J A 滋賀中央会 農業・地域対策部 内藤 明法

を通じた人との繋がりとといったものが数多く書かれていました。また、本年度はコロナ禍の影響で、今まで当たり前だった日常への気付きや感謝など、改めて考えさせられるような要素も作品の多くに散りばめられていました。

審査員からは「作品を通して再度お米の魅力に気がつき、そしてこのコロナ禍という困難を乗り越える気力を与えてくれた」「作品たちの雰囲気から、久しぶりに大勢の子どもたちと『一緒に』食事をした気分になれた」という講評をいただいております。

このコロナ禍においても県内の小中学校132校（小学校110校、中学校22校）から、作文部門584点、図画部門802点もの応募があり、その中から特選15

点、入選29点、佳作41点の受賞作品が決定しました。J A 滋賀中央会HP（受賞作品ページは「新着情報」をご確認ください）
<https://www.jas.or.jp/>



こだわりのいちごを安心して

食べてほしい

近江舞子いちご園 代表 **田中勝江**

琵琶湖の西、比良山の麓「近江舞子」で私たちは、いちごの栽培をしています。

私は地域の皆さんに支えていただきながら、いちご園の代表を務めて37年になります。

月日はあっという間に過ぎていくと感じるとともに、このいちご園をはじめて本当に良かった、すごく楽しかったという気持ちを強く持っています。

それは、今までたくさんの方がいちご園に来ていただき、私たちのいちごを「おいしい」と食べてくださったからです。

「こだわりいちご」の栽培

今では、珍しくなった露地栽培を続けています。県のこだわり農産物の認証を受けていますし、除草作業も手で行って、できる限り人や環境にやさしいいちごを栽培しています。またいちご園では、食農教育として、地元小学生にいちごの定



いちご園の外観

植体験を実施しています。そのためにも、私たちは人にやさしい方法でいちごを作り

続け、子どもたちに農業を通じて育てることと食べることの楽しさを発見してもらいたいです。

コロナ禍での取組

いちご園でもコロナの影響を大きく受けて、2020年の売り上げは、昨年の1/3ほどに落ち込んでしまいました。

そんな中でも、知り合いの方にお声掛けいただき、いちご園におこしいただいた皆さんには深く感謝申し上げます。

コロナ対策をしっかりと、今年も5月のゴールデンウィークの頃には、収穫体験を開始しますので、ご予約の上ぜひご来園ください。



美味しいいちご商品

お問い合わせ先

近江舞子いちご園
☎090(1155)1515
〒520-0502
滋賀県大津市南小松1020



道の駅湖北みずどりステーション

駅長 **小川健斗**

長浜市湖北町の湖岸道路沿いにある「道の駅 湖北みずどりステーション」は、はじめは農産物の直売所として運営を始め、平成15年に「道の駅」として認定を受けました。2020年9月より、新しい運営会社で「ACTIVE LAKE-STYLE STATION」→「アクティブな湖北のライフスタイルステーション」をコンセプトに掲げ、地域住民に寄り添った道の駅、目的地として来なくなる道の駅を目指し営業を行なっております。

当駅前の湖景は「日本の夕陽百選」にも選ばれており、湖には「コハクチョウ」、山には「オオワシ」などを始めたくさんの野鳥が集まってきました。そこで、隣の野鳥センターとも連携して、夜間に水鳥に光が漏れないように植栽を整えたり、野鳥達に配慮している道の駅でもあります。



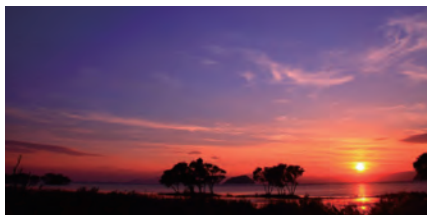
みずどりステーション外観



農産物直売所

当駅では、「環境こだわり米」の取り扱いがあり、お客様が購入される商品にも配慮しています。品種も多く、玄米・精米・もち米のご用意があることから、たくさんのお客様が安心してご購入求めいただいている様子が見受けられます。

湖北へ足をお運びの際は、ぜひお立ち寄りください。スタッフ一同みなさまのお越しを心よりお待ちしております。



駅から見える夜景



環境こだわり米取扱い商品

お問い合わせ先

道の駅 湖北みずどりステーション
☎0749(79)8060



「地産地消」に取り組むキャンペーンに参加するお店で使われるマークです。

こだわり滋賀ネットワーク支部だより

滋賀県各地で生産者と消費者のきずなを深める活動をしています。気軽に御参加下さい。お問い合わせは事務局まで。

大津・高島支部

「コロナ下での支部活動」



柿農家視察

大津高島支部では野外活動なら感染リスクが低いということで、10月20日(火)にこだわり団体会員の近江舞子いちご園での落花生掘り、花生掘り、11月24日にむねかた農園見学を企画しました。その際に「こだわり証の野菜あるいはこだわり認証の柿を作っておられる」むねかた農園の柿農家の視察を行いました。



落花生掘り

津農協でおすすめの「玉ねぎドレッシング」などを皆さんに試食していただきました。学校給食の玉ねぎが「コロナの影響で余り」たり、いちご園の団体会員がキャンセルになるなど農業にも「コロナ」は影響を与えたよう。で我々も、そういった農家さんの支援をなるべくさせていたいただきました。

活動自体は制約されましたが、支援活動は活発にしていた。こだわりの皆さんの底力に心が暖かくなりました。

南部・甲賀支部

米粉うどんの具材をさがせ。山田ねずみ大根を食べる

私たちはブログ記事や動画、オンラインでも活動を発信する仕組みをつくり、若者世代や家庭にも実践が広がることで、新しい生産者と消費者の相互理解のカタチが生まれる取組をしています。

11月26日、滋賀の農業の未来を担う湖南農業高校で会員4人・食品科の高校生14人と「こだわり米粉めん具材を探せ」という調理実習をしました。

噛むほどに甘みがあるこだわりの米粉めんについて理解を深め、食べ方を広めるため5種類の具材をみんなで作り、試食し、投票で人気を決めました。1位



山田ねずみ大根生産者訪問



ブログQR

クを楽しむ牛温たま、2位さごばり食べやすい天ぷらと小松菜とマイタケ、3位うてもマイルドな食べやすさ胡麻豆乳とキムチとなりました。ご家庭でもぜひ県内農産物でお試下さい。

1月24日、近江の伝統野菜「山田ねずみ大根」の生産者訪問を会員3人で行い、手間がかかるが伝統を継承し、ブランドとして発信する取り組みについてお話を伺いました。食生活の変化でも取り入れやすいレシピをサポーター5人で開発しました。天ぷらが絶品！ブログをご覧ください。

<https://ameblo.jp/nanbukouka>

東近江支部

こだわり農業(高島、今津)の視察

あきばれの好天気に恵まれた10月24日紅葉前の美しい山並みを眺めながら参加者16名で3密にならないようマイクロスバスを利用して高島、今津のこだわり栽培企業の視察に出かけました

★元小学校の廃校を利用して椎茸、きくら



きのご栽培



柿農家視察

げ等の栽培企業(共栄精密株式会社) 色々なきのこの栽培過程も見ることが出来ました(椎茸きくらげ等はCOOP滋賀、平和堂に出荷されています)

★富有柿栽培県内最初のこだわり柿農園100年前から親子3代で柿のこだわり栽培に取り組んでおられます。美味しい柿作りの苦労話も聞きました。獣害や台風の被害もあり大変だそうです

湖北・湖東支部

これまでの活動報告と今後の活動

この一年、コロナ禍のため活動ができていないため、これまでの活動を振り返ってみたいと思います。

これまでの活動の中で、地域の農業生産者との活動「山かぶ」多賀に「多賀にんじん」などの地域特有の素晴らしい野菜に出会うことができました。

色鮮やかなかぶの色、にんじんジュースの甘さ、忘れることが出来ません。生産現場にも出向きました。彦根のアスパラや葉物野菜、生産者の苦労話に耳を傾けました。琵琶湖沿岸のゆりかご水田では、水田を泳ぐ魚たちについて学びました。生産者の思いを二人でも多くの人に伝えようと思いました。特筆すべきは、当支部恒例の「農産物持ち寄り農談会」が19回も継続して開催することが出来たことです。地元の農産物の料理をおおして、滋賀の農業に関しての話をすることは、とても楽しい時間でした。「コロナ禍での活動は非常に難しく考えてしまいます。会員さんとの葉書のやり取りでは、少なからず「コロナ禍での活動に抵抗があるようです。まずは「コロナ禍」が日でも早く終息することを願うばかりです。



琵琶湖と共生する農林水産業を応援するためのマークができました!

このマークを目印に
持続的な営みを
応援しませんか!



◆次のような産品、活動の案内等に掲載しませんか?

- ① 環境こだわり農産物、魚のゆりかご水田米
- ② 琵琶湖の水産物(真珠を含む)、ヨシ
- ③ ①または②を使用する加工品や旅行商品、交流事業
- ④ 琵琶湖の環境保全活動(水源林保全を含む)
- ⑤ ①から④に関連する学習・体験活動

※他に、文房具やお土産品でも「応援してます!」等の文言付記によりご利用いただけます。



ロゴマーク発表会・表彰式(2021.1.25 於:滋賀県庁)



◆「琵琶湖システム」やロゴマーク利用に関する届け
については、琵琶湖システムHPをご覧ください。
琵琶湖システム HP:「琵琶湖システム 農業遺産」で検索!

ロゴマークの利用等に関するお問合せ先

琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会
事務局(滋賀県農政水産部農政課)

TEL: 077-528-3825 FAX: 077-528-4880

Mail: shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp



こだわり滋賀ネットワーク 入会申込書

令和 年 月 日

こだわり滋賀ネットワーク事務局 あて
(滋賀県庁食のブランド推進課内)

こだわり滋賀ネットワークの活動目的に賛同し、会員として入会します。

ふりがな 氏名または 団体名			男	女
年齢			歳	
会員種別 (○をつけてください)	正 会 員			
個人 (1口1,000円/年)			□	
口数 (口数をご記入ください)	団体 (1口5,000円/年)			
住 所	〒			
(団体の場合) 所属・担当者名				
連 絡 先	電話	ファックス		
メールアドレス				
該当するところに○をつけてください。				
①消費者 ②生産者(又は生産者組織) ③流通販売事業者				
④農や食に関する団体 ⑤その他()				
滋賀の農や食に関する活動歴や思い、PR等ご自由にご記入ください。				

◆ご記入いただいた個人情報は、こだわり滋賀ネットワークから会員への情報提供、連絡調整、こだわり滋賀ネットワークの運営においてのみ使用します。

〈申込先〉 こだわり滋賀ネットワーク事務局
〒520-8577 大津市京町4-1-1 滋賀県農政水産部食のブランド推進課内
FAX 077-528-4881 E-mail kodashiga-net@nifty.com

こだわり滋賀ネットワークに入会ご希望の方は、点線で切り取り、ハガキに貼り付けて郵送で、または FAX で事務局までお送りください。

こだわり滋賀ネットワーク事務局 FAX 077-528-4881

私たちと一緒に滋賀県の農や食を応援しませんか!

こだわり滋賀ネットワーク正会員募集中!

正会員: 本組織の目的に賛同する個人および団体

(年会費: 団体1口以上[1口5,000円]、個人1口以上[1口1,000円])

正会員には、年2回、滋賀の農や食の情報が満載のこだわり滋賀ネットワーク広報誌「こだわり。」と県内の農や食に関する様々な情報をお届けします。また、こだわり滋賀ネットワークの活動に優先して参加いただけます。

こだわり滋賀ネットワークとは?

優れた自然環境やびわ湖と共存した滋賀の農業のあり方や食について、会員が集い共に考え行動することにより、県民の食への安心感の醸成、地産地消の推進、および滋賀県農業の振興に寄与することを目的としています。

こだわり滋賀ネットワーク事務局

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1 滋賀県農政水産部食のブランド推進課内
TEL 077-528-3895 FAX 077-528-4881

E-mail: kodashiga-net@nifty.com

こだわり滋賀ネットワーク「惣一つながるブログ」

惣 ブログ 検 索

携帯URL



携帯からも
見ることができます(^^)

編集後記

今回の特集は、「GAP」です。

湖南農業高校の生徒の頑張りで、安全・安心な農作物の認証取得することが出来ました!滋賀の農業の未来を担う若者をぜひ応援してください!

(U)